

第2回 恵庭創生懇談会 議事録【要約】

(第2回)

議題：(1) 恵庭市人口ビジョン骨子素案について (2) 恵庭市総合戦略骨子素案について

日時：	平成27年7月23日 14:00～16:00	場所：	恵庭市民会館1階第1会議室
出席者：	北海道大学公共政策大学院特任教授 北方型ECO推進協議会 (株)キクザワ 代表取締役 北海道文教大学 こども発達学科 講師 学校法人産業技術学園 事務局長 北洋銀行恵庭中央支店長 北海道銀行恵庭支店長 恵庭市政記者クラブ 千歳民報社 代表 千歳公共職業安定所 所長 北海道石狩振興局地域政策部戦略策定支援担当部長	小磯 修二 菊澤 里志 井上 大樹 切明 毅 小松 節男 高橋 克巳 大澤 雅松 曾根 文儀 田辺 きよみ	
作成部署：	企画・広報課 総合戦略担当	作成者：	松居 友輝

議事録内容(1/4)

	会議次第
	1. 開催あいさつ
	2. 議 事
	(1) 恵庭市人口ビジョン骨子素案について
	(2) 恵庭市総合戦略骨子素案について
	3. その他
司会 (林企画振興部次長)	北海道銀行恵庭支店小山委員から高橋委員への変更、 産業技術学園切明委員欠席のため、事務局次長荒様代理出席、 連合北海道恵庭地区連合田中委員、恵庭工業クラブ増淵委員欠席の報告。
原田市長	第2回恵庭創生懇談会開催にあたっての挨拶。 委員出席にあたっての感謝。
小磯座長	第2回恵庭創生懇談会開催にあたっての挨拶。 第2回恵庭創生懇談会の進行方法。
事務局	事務局より(1)恵庭市人口ビジョン骨子素案について(2)恵庭市総合戦略骨子素案について説明。 【(1)恵庭市人口ビジョン骨子素案について】 統計データの分析や転入者意識調査から今後の事業展開の分析をしたところ、 遊休地などを活用した宅地造成による転入者の増加を促すこと。 結婚前の若者の定住促進、雇用の場の確保により、結婚、出生率の上昇に向けた対策を進める必要があること。 女性を中心とした雇用の場、交通手段、子どもの預かりまで含めた連携した支援を進める必要があること。 自然、景観など地域性を持った観光資源活用により観光人口の増加を目指す必要があること、などについて説明。

議事録内容(2/4)

事務局(続き) 【(2) 恵庭市総合戦略骨子素案について】

目的、総合計画との関係、期間、数値目標について説明。
4つの基本目標に基づく21の具体的な施策、70の事業について説明。
今後の効果検証、総合戦略の構成、参考資料として子育て支援全般にかかる支援事業について説明。

【説明についての質疑応答】

A委員 市内大学生・専門学校生の就職先状況において、学生の居住状況(一人暮らし、恵庭市在住など)の把握もしているか。

事務局 把握していないため、今後学生に対するアンケート調査を行い、明らかにしたい。
ただし、大学も専門学校も栄養関係や医療等専門性が高いため、学科と就職先のマッチングに課題がある。
そうしたところも分析したい。

座長 大切な問題提起。札幌圏で若者を定着させることに對し、どこまで政策を傾けるか引き続き検討が必要。

【各委員から人口ビジョンと総合戦略について意見、提言】

A委員 公共交通ネットワーク形成の充実策について提起。
(エコバス廃止で、タクシー割引券配布。)
(エコバスを小さくして増便する。)
公有地有効活用(住宅地等供給促進)も公共交通とのリンクが必要。
耐震化リフォームでは、業者側の頑張りも必要。
スマートハウス街区形成事業では、住宅の基本性能を高めることが重要。

B委員 高等教育機関等との連携について。
今の学生は忙しいが、恵庭市在住者が1/3以上いる中で、土曜スクールといった地域貢献をできる場が増えれば、
学生も高等教育機関も恵庭市もイメージアップに繋がる。
高校生への支援について、地元で働くキャリア教育と地元定住の意識を高めるキャリア教育創造プログラムがあれば
いいが、なかなか難しい実態も理解できる。

事務局 土曜スクールについて説明。
土曜授業は昨年度柏陽中学校で試行。全生徒参加で年8回土曜日に授業を行い、総合学習や数学、英語等を実施。
総合学習を土曜日に実施することにより、平日のその他教科の時間が増えるなどの効果もある。
土曜スクールの生徒は希望者だけで、年10回程度土曜日に地域の方々や高等教育機関の学生さんに
来ていただいて授業や補習を実施してもらい交流も行うというもの。

B委員 高等教育機関の実績として、恵庭市内の小中学校に補助員として授業に入るアシスタントティーチャーや、
コミュニティスクールのボランティアなどがあり、連携はますます可能性が広がるもの。

C委員代理 1700名以上の学生のうち約45%が恵庭市に住んでおり、恵庭に自宅があるのは110人くらい。
就職となると地元もしくは札幌、道外ということで恵庭市に残る学生は少ない。
恵庭市、北広島市、千歳市の求人情報では約4%と非常に少ない。
専門学校の専門性を活かすと職に限られ、マッチングがうまくいかない。
そうした中合同企業説明会や起業支援は有効と考える。
住めば都ということもあり潜在的に恵庭市に残りたい学生は多いと思うので、残ってくれるような取り組みを。

議事録内容(3/4)

D委員	<p>職から住へ。企業誘致と宅地造成をリンクさせること。</p> <p>恵庭市は医療など福祉関係も充実しているので、そこで働く人の待遇面の取り組みを。</p> <p>小規模事業主の事業承継について、新卒者とのパトタッチなどの結びつきの支援ができないか。</p> <p>エコバスについては、利用者の声を反映させる施策が利用率の向上に繋がる。</p>
E委員	<p>人口減少対策は、様々な施策を並行的に進めていかざるを得ないのが現状。</p> <p>北海道銀行ではJTIさんとの業務提携により移住のためのフォロー、支援を行う体制を整えた。</p> <p>札幌圏に対する恵庭市の暮らしやすさ、子育てのしやすさのPRを。</p> <p>観光を掘り下げて移住に誘導するような魅力づくりを。</p>
F委員	<p>民間へ働きかけ宿泊施設の誘致を。</p> <p>安全安心に住み続けたくなるまちづくりでは、コンパクトシティを推し進め、除雪を含めた災害への対応が必要。</p> <p>恵庭らしさを活かした魅力あるまちづくりでは、農業後継者育成に若者だけでなく幅広い世代の視点を入れること、農商工連携だけでなく農商工学連携が必要。また、花だけでなく農業体験もできるような観光客への対応も必要。</p> <p>農福連携だけでなく、農福学連携し、若者の移住、定住を促す仕組みを。</p> <p>婚活は農業者に限定せず、幅広い取り組みを。</p> <p>高齢者、学生、子どもの多世代交流の取り組みは愛着あるまちに繋がる。</p>
G委員	<p>しごとが定住、移住の柱。しかし、正規雇用の求人は札幌圏と比べると恵庭・千歳圏は10ポイントほど低いのが現状。</p> <p>非正規雇用でも条件の良い方に流れるが、通勤を含めた労働条件の改善などがあれば変化も生まれる。</p>
H委員	<p>自治体単一で完結するのは難しくなっており、広域的な考え方が必要。</p> <p>観光も市内だけで完結する観光ルートは難しい。</p> <p>移住施策も、東京圏から見れば札幌圏に恵庭市も含まれエリア全体で売り込みを。</p> <p>女性は就業促進という側面だけでなく、女性のネットワークづくりとその活用なども考えてはどうか。</p> <p>移住に際して教育環境は重要。教育の中身以外にも住環境や地域環境が大切で、恵庭市は可能性が大きく広がる。</p> <p>若者を呼び戻す方法として、2回目の成人式などがあり、そういった活動団体支援も一つの地方創生になる。</p>
I委員	<p>(欠席のため書面による参加、事務局より紹介)</p> <p>企業誘致、具体的には大規模物流センターやホテル。</p> <p>ホテルは地域コミュニティや防災にも役立つ。</p> <p>道外からの若者移住対策として、離農された場所の活用なども一つ。</p>
A委員	<p>追加発言として、札幌からの人口流入を考えた際に電話番号の011から離れたくないという011呪縛がある。</p> <p>中学生期からの職業体験なども継続した実施が必要。</p>
座長	<p>国の動きが見えない中で、恵庭市における総合計画策定の議論をベースに、総合戦略策定に取り組むことは非常に有益。</p> <p>基本目標の4つもメッセージ性のある柱。特に人口減少に負けないというマイナスのイメージを払拭する</p> <p>メッセージを示すことにより幸せで豊かな地域社会に向かうことができる。</p> <p>これまでにあった政策を人口減少という大きな流れの中であらためて継承し、ここで足らざるものは何なのか。</p> <p>そこで評価すべきことは何なのか。そういった議論をしていくために、子育て支援全般にかかる支援事業を一覧にすることは非常に良い。こうした中で、恵庭らしい政策づくりで体系を再整備し、総合戦略として再掲し整理することも大事。</p> <p>戦略全体について言えば、移住、雇用創出、観光いずれも1市町村の枠組み単独で行えるものはなく、広域的な戦略が必要だが、地方創生の中で一番難しいところであり、自分たちでできる範囲で総合戦略を進めることが大事。</p> <p>個別事業について言えば、移住の最初の大事な問題は住むところであり、少し幅広い形での空き家対策を含めた空き空間活用が必要。</p> <p>産業連関表を活用した地域経済活性化は恵庭らしいが、産業連関表はツールであり、これを使って何をやるかが大切。</p> <p>例えば観光政策で言えば、外から来た観光者が、その地域でどれだけ消費して、その消費を地域の産業がどこまで受け止めて、それが地域の人たちの働く雇用の機会につながっているか、そのシナリオを作り上げることが必要。</p>

